

夏休みの研究課題：南予の誇れる遺産

遺産番号 35 遺産名称 愛媛蚕種株式会社事務室・玄関他

宮内 小学校 6年竹組 氏名 竹上舞凜 (男・女)

スケッチ (訪れた日：平成30年 8月1日)



研究成果 (近所の人に聞いたり、図書館で調べたことなど)

蚕種(蚕の卵)製造業に関する建物群。明治17(1884)年、呉服商兵頭寅一郎が麓屋の号ではじめ、日進館のち愛媛蚕種株式会社となる。

同時に登録された3棟の建物の内、事務室・玄関は、木造2階建て鉄板ぶき一部ストレートぶきで、明治後期の建築と伝えられる。玄関扉上部に浅いポーチを張り出し、1階の上下スライド窓の上部には三角ペディメントを施した洋風の外観。事務室のひずみのあるガラスは建築当事のものと思われる。

第1蚕室・第2蚕室は木造瓦ぶきで、大正8(1919)年の建築

といわれ、洋風建築を象徴するトラス構造である。玄関に続く第1蚕室が3階建て、奥の第2蚕室は地盤が1階分高いところに建つ2階建てで、2つの建物の間は赤レンガ壁で仕切られている。両蚕室とも外壁にあたる部分のほとんどを建具で構成する特徴的な外観を示している。

現在も操業し、地域の産業発展の歴史を今に伝える貴重な建物である。